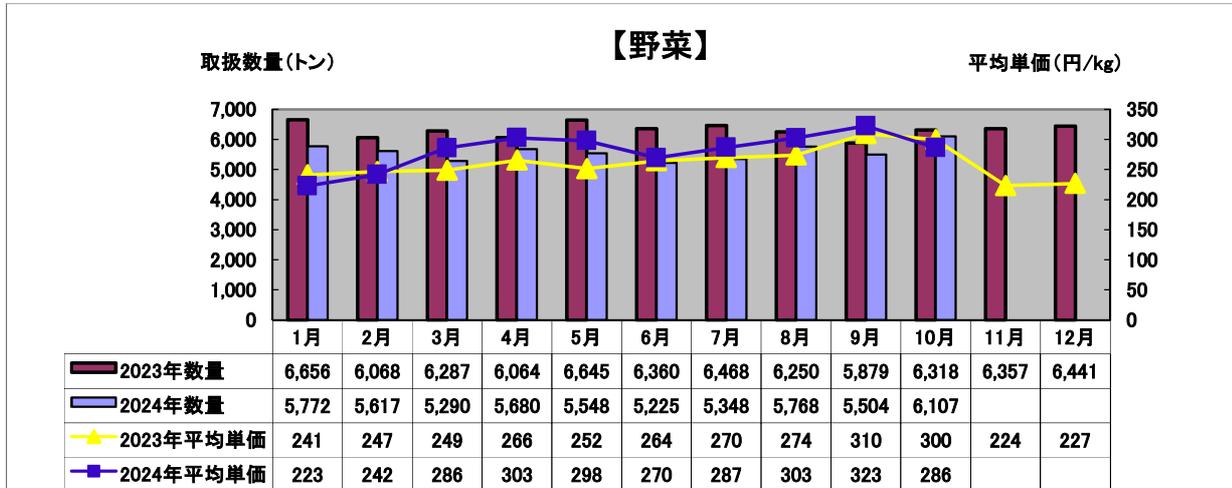
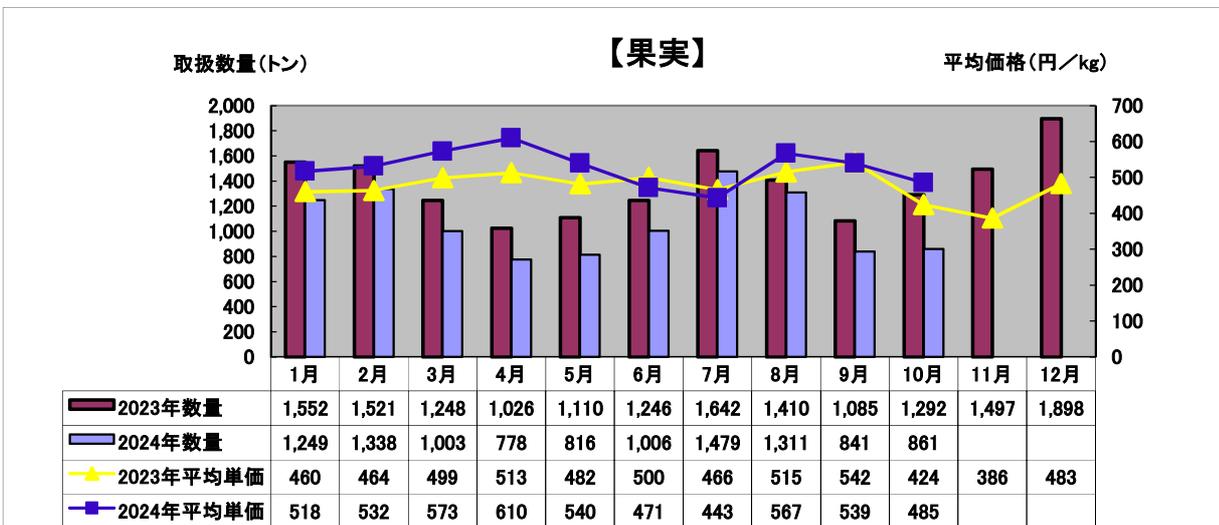


令和6年(2024年)10月 青果部種類別市況



10月の野菜類は、高温の影響により品質が安定せず傷みも多かったことにより、数量はやや減少しました。前年に比べ平均単価はやや低く推移しました。

前年比数量 97%、単価 95%で終了しました。



10月の果実類は、カメムシによる被害、猛暑による生理落果の多発や日焼け果の多発などがあり数量はかなり減少しました。単価については高く推移しました。

前年比数量 67%、単価 115%で終了しました。